

ガス・スプレー缶は 正しく捨てないと危険です！

スプレー缶による爆発事故や、ごみ処理施設の火災が全国的に起きています。東総地区クリーンセンターでも小規模の火災が発生しています。

誤った出し方をすると、爆発の原因になり、作業員が危険にさらされるほか、ごみ収集車両、ごみ処理施設の破損により、ごみ処理ができない状況になってしまい、皆さまの生活にも大きな影響をおよぼします。

★ガス・スプレー缶の処分方法

以下の手順を守って、正しく処分してください。

①中身を最後まで使い切る。

中身が残っていると、缶を振ったとき「シャカシャカ」「チャプチャプ」といった音がします。

②火気のない、風通しのよい屋外でガス抜きをする。

- ・使い切った後は、付属のガス抜きキャップを使ってガス抜きを行ってください。
- ・ガス抜きキャップが付いていない場合は、ボタンを押して完全にガスを抜いてください。
- ・製品に記載されているガス抜き方法（ガス抜きキャップの使い方）をよく読んでから行ってください。
- ・必ず近くに火気のない、風通しのよい屋外で行ってください。

③資源ごみ袋に入れて「金属ごみ」の日に出してください。